

たておう だより Vol.14

2024.10月号

一般社団法人館林市邑楽郡医師会 在宅医療介護連携 相談センターたておう

相談センターたておうは
医療機関や介護関係者の連携を
推進するための専門職専用の相談窓口です

第26回たておう合同学習会

日時：令和6年5月21日（火）13時30分～15時
場所：邑楽町役場3階大会議室
講師：メディカルケアカミ・コーポレーション（株）
代表 リンパ療法師 岩瀬 和美 先生
テーマ：「リンパ療法」
～心身を癒すセルフケア実技を学ぼう～



令和6年度初回の合同学習会は、要望のとても多かった、リンパ療法師岩瀬先生をお招きしました。24名の方が参加し、リンパ療法についての講演・実技を体験しました。リンパ系は、細菌やウイルスなどから体を守るとても大切な役割をしていると教えていただきました。



第47回たておう研修会

日時：令和6年6月13日（木）19時～21時
場所：公立館林高等看護学院 4階 講堂
テーマ：「医師から見た在宅医療とACP」
～病院で死ぬこと、自宅で死ぬこと～
講師：医療法人 弘恵会 杉浦医院理事長
公益財団法人 日本尊厳死協会関東甲信越支部
支部長 杉浦 敏之 先生



研修会では、多職種の方々117名にご参加いただきました。突然家族が重篤な状態になった時、1日でも長く生きてもらいたい→延命治療（大切な人を苦しめる可能性）なるべく苦しめないでほしい→緩和治療（延命治療をするよりは寿命が短くなる可能性）後悔しないためには・・・あらかじめ本人と話し合っておくことで判断しやすかったのではないかと感じました。そのためには、ACP（人生会議）が重要であると仰っていました。「急性期病棟へ勤務しているため、在宅医療やACPに対して身近に感じる機会が少ない。今回の研修会で患者にとっては、ACPはとても重要であると感じた」「“望む死に方”について家族で話し合うことはやはり大事なことであると感じた」と参加者から感想が寄せられました。

第27回たておう合同学習会

日時：令和6年7月23日（火）13時30分～15時
場所：邑楽町役場3階大会議室
講師：ファミル薬局訪問薬剤管理支援センター
館林邑楽薬剤師会 副会長 上村 哲哉 先生
テーマ：「在宅薬局の現状とくすりの使い方について」



大変好評で71名が参加し、サプリメントの効果的な飲み方、注意したい薬剤の飲み合わせと副作用対策、薬剤の副作用に対するADL・QOLへの影響などについて教えていただきました。「くすりについて細かく説明いただき分かりやすかった」「通院できない方の薬の配達管理、認知症（独居）の方への服薬指導など訪問薬剤管理支援センターの業務内容を知ることができた」「薬剤師の役割について理解できた。これからは、薬局を含めたプランやモニタリング等を検討していこうと思う」とご感想をいただきました。

令和6年度 館林・邑楽地域退院調整ルール運用に係る意見交換会

日時：令和6年8月30日（金）13時30分～15時
場所：邑楽町役場 3階大会議室
開催形態：対面によるグループディスカッション
テーマ：「入院時情報提供シート」
標準化についてどのように考えるか

参加者：55名

入院時情報提供シートは、地域や県によって様式の違いによる問題が多かったため、従来の館林邑楽地域様式から令和6年度介護報酬の改定において国の公表した様式「入院時情報提供書」＜在宅版＞へ移行すべきか？グループディスカッションを行いました。その結果、令和7年度より移行する方向です。



第1回“救急隊員と医療・介護の顔の見える会議”

日時：令和6年9月18日（水）13時30分～15時30分
場所：邑楽町役場3階大会議室
テーマ：“救急隊員と医療・介護の顔の見える会議”
1. 講演「救急車を呼んだらどうなるか？」
講師：館林地区消防組合消防本部 警防課
課長補佐兼救急管理係長 飯島 康明 様
2. グループワーク
「救急時の対応で不安なこと・困ったこと」

参加者：32名

各グループへ救急救命士1名入っていただきグループワークを行いました。救急救命士の方へ直接お話を伺う機会はありませんでしたが、質問が飛び交っていました。そして、質問に対し丁寧に回答くださいました。参加された方からは、「地域の救急の現状について知ることができた」「救急車を呼ぶタイミングについて聞くことができて良かった」など感想が寄せられました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。



住民公開講座

日時：令和6年10月5日（土）14時～16時
場所：日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール
テーマ：「住み慣れた地域で人生の最期まで穏やかに
すごせるために知っておくこと」
～ユニバーサル・ホスピスマインドをすべての
人生のそばに～
講師：めぐみ在宅クリニック 院長
一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会
代表理事 小澤 竹俊 先生
対象：地域の一般住民・多職種の方

参加者：234名

患者に寄り添う訪問診療を行いながら、エンドオブライフ・ケア協会理事として、看取りや人材育成にも取り組むめぐみ在宅クリニック院長小澤竹俊先生を講師としてお迎えいたしました。ご参加いただいた方は、「笑いの中に感動をたくさんいただきました」「人の話をよく聞くこと（反復）の大切さを学んだ」などご感想をいただきました。たくさんのご参加誠にありがとうございました。



お問い合わせ

在宅医療介護連携相談センターたておう
〒374-0043 群馬県館林市苗木町2497-17
TEL:0276-55-0118
FAX:0276-73-0215
✉:tateou-sudan@mail.gunma.med.or.jp